

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 26 年 8 月 4 日 (月)

全員協議会室

10 時 00 分～ 11 時 27 分

(委 員) 佐々木委員長、岡本副委員長

岡野委員、小川委員、森谷委員、野藤委員、上野委員、江角委員

(議 長・委員外議員) 足立議員、柳楽議員、串崎議員、笹田議員、布施議員、芦谷議員

西田議員、澁谷副議長、西村議員、牛尾昭議員

(総務文教委員会 所属管理職)

[総 務 部] 牛尾総務部長、前木総務部次長(総務課長)、小田人権同和教育啓発センター所長
河上安全安心推進室長、人事課長

[地域政策部] 砂川地域政策部長、細川地域政策部次長(政策企画課長)、岡田地域プロジェクト
推進室長、坂田地域振興課長、

[財務部] ~~堀~~宮崎財務部次長(財政課長)、徴収課長

[金城支所] 吉永支所長、~~大崎~~自治振興課長

[旭 支 所] 岩谷支所長(自治振興課長、旭分室長)

[弥栄支所] 田中支所長、森下自治振興課長

[三隅支所] 横田支所長、斎藤自治振興課長

[会 計 課] 江木会計管理者(会計課長)

[教育委員会] 石本教育長、山本教育部長、三浦教育部次長(教育総務課長)、佐々木学校教育課
長、滝本学校教育課副参事、山根生涯学習課長、島田中央図書館長

[選挙管理委員会] 原田選挙管理委員会事務局長

[消防本部] ~~加戸消防長、河上消防本部次長(総務課長)~~

(傍聴) 報道～白築山陰中央新報社記者、森田中国新聞記者

一般～県立大学インターンシップ 1 名、末岡主任主事

(事務局) 篠原書記

議 題

1 報告事項

(1) (仮称) 浜田市敬老乗車券事業について

(2) 島根県立大学浜田キャンパスの学部増設の要望について

(3) 平成 25 年度健全化判断比率・資金不足比率(速報値)について

(4) ふるさと寄附制度 平成 26 年度寄附受付状況及び特産品のリニューアル
について

(5) 県内 8 市の市税延滞金収納状況について

(6) (仮称) 旭統合小学校建設について

(7) 平成 26 年度島根県学力調査結果について

(8) 生徒国際交流事業について

(9) 三隅図書館開館時間試行延長の状況について

(10) 浜田市立中央図書館開館一周年記念イベントについて

(11) 浜田市立和田公民館の移転について

(12) その他

- ・ 第4回浜田市人権尊重のまちづくり推進大会について

(配布)

- ・ 平成26年度運動会及び学習発表会等日程表

(事前配布後、追加)

- ・ 浜田港への海上自衛隊の誘致について
- ・ 平成26年度浜田市職員採用試験（H27.4.1採用）について
- ・ 坂根正弘奨学金について
- ・ 島根海区漁業調整委員会委員補欠選挙について

2 その他

なし

佐々木委員長

定時になったのでただいまから総務文教調査会を開会する。ただいま出席議員は8名、ただちに会議に入る。

1. 報告事項

(1) (仮称) 浜田市敬老乗車券事業について

佐々木委員長

議題1 (1) について、地域振興課長。

地域振興課長

(以下、資料をもとに説明)

佐々木委員長

委員の皆さんから質疑は。江角委員。

江角委員

当初予算でも出ていたのもっと具体化されて今回出されたのだろう。継続年度も来年度にまたがっていたので、そういうことだろうと思う。そもそもこうした事業を展開する基本ベースとしては、浜田市地域公共交通の実施計画が出されていて当時もだいぶ議論したのだが、ここでも交通空白地域、バスで言うとバス停から500メートル範囲に無いというところが指定されていて、そうするともっと増える。この実施計画と今回のこの具体化の計画、空白地域を今後どうしていくのかも含めて、どのような考えを持っているのかうかがいたい。

地域振興課長

先ほど議員さんが指摘されたところだが、実施計画、来年27年度まで。従って28年度以降の考え方についてこれから整理する必要がある。交通空白地域は今回取り上げている地域以外にももちろんある。どういった切り口で調査をとというのは当初色々議論したが、とりあえず緊急性の部分について動向を調べようということ。併せてこれを進めていく中で、支所とも連携して調査していくが、他の部分、例えばご意見等を含めて検討に乗せていきたいと思う。

江角委員

関連してこの事業でもう1つ、計画づくりの体系の見直しがあったと思う。少し意見を言いたいのだが、昨年12月に公共交通の政策基本法が出来た。国もそれに基づいて早く計画を立てるといようなことが法律に盛り込まれており、これまでの公共交通の考え方から少しバージョンアップをしたのではと受け止めている。そういった国の計画も踏まえて、法律も踏まえて、28年度以降の計画についても配慮や考慮をしたりして、計画をお願いしたいと思う。これは要望。

地域振興課長

先ほどの法律についても、先だって説明があったり資料等をいただいている。しっかり研究した上で取り組みたいと思う。

佐々木委員長

他に。

(「なし」という声あり)

ないようなので次の議題に移る。

(2) 島根県立大学浜田キャンパスの学部増設の要望について

佐々木委員長	(2)について、地域プロジェクト推進室長。
地域プロジェクト推進室長	(以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長	ただいまの報告について質疑がある方は。野藤委員。
野藤委員	この件だが、要望に対する回答といったようなものはあるのか。
地域プロジェクト推進室長	どういう形で県知事あるいは理事長が回答されるかは、まだ先方からどういう形でいただくかということまでは考えていないが何らかのアクションはあるだろうと思っているので、それを受けてまた次に取り組むべきことを考えていきたい。
佐々木委員長	他に。 (「なし」という声あり) ないようなので次の議題に移る。

(3) 平成 25 年度健全化判断比率・資金不足比率（速報値）について

財政課長	(3)について、財政課長。
佐々木委員長	(以下、資料をもとに説明) ただいまの報告について質疑がある方は。 (「なし」という声あり) ないようなので次の議題に移る。

(4) ふるさと寄附制度

平成 26 年度寄附受付状況及び特産品のリニューアルについて

財政課長	(4)について、財政課長。
佐々木委員長	(以下、資料をもとに説明) ただいまの報告について質疑がある方は。 (「なし」という声あり) ないようなので次の議題に移る。

(5) 県内 8 市の市税延滞金収納状況について

徴収課長	(5)について、徴収課長。
佐々木委員長	(以下、資料をもとに説明) ただいまの報告について質疑がある方は。 (「なし」という声あり) ないようなので次の議題に移る。

(6) (仮称) 旭統合小学校建設について

教育総務課長	(6)について、教育総務課長。
佐々木委員長	(以下、資料をもとに説明)
上野委員	ただいまの報告について質疑がある方は。上野委員。 航空写真を見ると 140 メートルとあるが、ちょっと下の 100 メ

一トル寄りの所に以前崩れた所があり、校舎の沖側に2軒ぐらい住宅があるが、その方から市へ覚書みたいなものを書いて、もし崩れた時にどうしてくれるのかと言われたので、十分な説明をしていただき、多分崩れたのはもっと軟弱な所で、そこは大丈夫だと思うが、十分な説明をしていただきたい。

教育総務課長

この工事の施工については旭町建設課で施行していただいているので、またその旨を担当課に確認させていただきたい。

佐々木委員長
江角委員

他に。江角委員。

先ほど、窓は二重ガラスということだったが、騒音対策だろうと思う。これまで色々議論があった米軍機の低空飛行の関係もあったのだろう。この件については国や県からの財政支援みたいなもの、これまでもいくらか出ていたが今は無いと思う。建設にあたってそういうところもきちんと伝えておくべきではと思うが、その辺の考えをうかがいたい。

教育総務課長

確かに高い負担を出して被害を抑えるための対策をするということで、江角委員のご指摘のような要望活動も必要かと思う。市長部局、担当部局とも協議して、国・県に要望を上げていきたいと思う。

佐々木委員長

他に。

(「なし」という声あり)

ないようなので次の議題に移る。

(7) 平成 26 年度島根県学力調査結果について

学校教育課副参事
佐々木委員長
森谷委員

(7)について、学校教育課副参事。

(以下、資料をもとに説明)

ただいまの報告について質疑がある方は。森谷委員。

成績が向上しているのは良いことだと思うが、人間としては成績よりも人に迷惑をかけないとか、充実した人生を送る方が大切だと思うのだが。先ほどの説明はとても分かりやすくて相当な準備をしていたのが分かる、素晴らしいと思う。

学校教育課副参事

肝心の質問だが、中一と中二が向上したと言われたが原因は分かっているのか。

数値による正確な科学的な根拠というのは私はまだ持っていないが、生活学習調査の結果で見られるように、本市の場合は特に学校図書館を活用した調べ学習等の言語活動に積極的に取り組んでいる学校が多い。昨年度も中国地区の学校図書館研究大会というのがあり、学校図書館を活用した学習活動という研究を発表した学校もある。そういった学校図書館を活用した調べ学習等による言語活動によって、生徒が主体的に活動出来る場面が増えたのが1つの原因かなとは、個人的には思っている。

森谷委員

原因が分かっているとどういう手を打って良いか分からない

ので。たまたま今回は良かった、次回は良くなかったということでは勿体ない。原因をしっかりと突き止めて、無理の無い範囲で進めていって欲しいと思う。

学校教育課副参事
佐々木委員長
岡野委員

はい。

他に。岡野委員。

成績が全体的に向上しているとのことで大変喜ばしいと思うが、これは例えば数年前から対策をしてきて小学校から中一までに対してはかなり効果が上がっているが、中二・中三に関してはあまり向上が数字的に見られない。特に算数については 6.1 ポイントも低いとか、英語も 3.5 低いとか。これはもしかしたらこの学年、中二・中三までの学年に対しては対策が遅れたために、その前の年と比較するのではなく、その学年、2年生3年生があまり上手く行ってないのであって、実は中一までの下の学年は良い成績を常に残しているのではないか、というのが私の勝手な推測なのだが。その経年についてと、また中二・中三について家庭学習の時間が急に減ったり、学習が中二ぐらいから難しくなるのでそれに対して対策が上手くいっていないか、その辺りの考察があれば教えてもらいたい。

学校教育課副参事

確かに中学校の家庭学習時間については学年が進むにつれて短いという傾向がある。これは県も同様。本市としては、小学校も含めて家庭学習時間を何とか増やそうという1つの方策として、今年度に家庭学習ノートコンテストというのを企画して、各小中学校にて家庭学習した後が残るノートを提出してもらい、良い者を表彰すると共にこのような内容で家庭学習しているということ市内の小中学校に紹介していくことを考えている。

岡野委員

それは分かるのだが私が聞いたかったのは、中二と中三の学力が急に低下しているのはその学年は対策が上手くいっていないとか、中二・中三から悪くなる理由。中一まではかなり頑張っておられるのでそれについてどういった理由があるのか聞いたかったのだが。

学校教育課副参事

数字的には私もはっきり、何が原因かは分からない。特に中学2年生については、先ほども少し触れたが、今の中二が中一・小六・小五と経年比較してみると、確かに県平均は下回っているがその差は縮んでいるという傾向がある。中二から中三にわたって学力が下がっていくことの厳密な内容については分かりかねる。

佐々木委員長
上野委員

他に。上野委員。

社会復帰促進センターが旭にあり、全国から子どもを連れて来られる。小学校は職員の家族の方が来られて倍近くなったし園児の方も園に入れにくいぐらいの待機児童がおられたりということで、大変子どもさんは増えたが、中学校になるとどうしても子どもを地元置いて来られる。私も長く公民館のことをさせていただき、

公民館に来られる方に色々聞いてみたら、どうもここへ子どもを連れてきたら高校・大学に行く時に困るしね、という声をよく聞いた。案にこちらの方が学力が低いような言い方をされたので、中学校の前校長先生に聞いて、いや旭は県下でも良いレベルだと聞いて、促進センター長にそのことも話した。そうしたらセンター長が大変喜んで、職員が集まった時に1回そのことを言うと言われて、それから随分復帰センターの家族の方も色々な面で学校に対する思いが変わってきたように感じる。浜田市の中でも内の学校がどうのこうのではないが、全国から来られる方はやはりそういう目で、中学・高校に行った時に子どもは大丈夫かなということホームページ等で見られると思う。是非安心してこちらに子どもを連れてきてくださいということが出来ないものか、是非していただきたい。

学校教育課副参事
佐々木委員長
小川委員

浜田に子どもを預けて良かったと思われるように努力したい。
他に。小川委員。

読書に関して。市長の教育方針の中でも読書は重要視されている。この報告の中にも、全国的に比べてもかなり高いと評価されているが、具体的に例えば読書に親しむ時間を増やせるような指導というか、そういったことが小中学校の中でどういった形でなされているのか、もし分かれば説明して欲しい。

学校教育課副参事

まず、各小中学校ともいわゆる授業が始まる前の朝の時間に、朝読書というのを全ての学校でやっている。これがまず大きいのではないかと。それから、学校図書館活用教育ということで小一から中三まで、発達段階に応じて図書館の使い方を指導したり、あるいは調べ学習の仕方についてに特化した授業をしたり、あるいは浜田市内の全ての小中学校に学校図書館司書を配置していることによって、読書活動の普及とかあるいは活用といったことがかなり大きいと思っている。

小川委員

もう1点。メディア接触時間の関係について。テレビや新聞等でもよく、こうしたメディアへの接触で事件事故に巻き込まれる危険性というのがある中、接触について例えばここに書かれているのは、ノーメディアデーの取組みだとか接触時間適正化についての保護者との理解協力の関係だが、この点について今後の見通しや方向性があれば説明を。

学校教育課副参事

浜田市の場合は中学校区単位で小中連携した教育活動を行っている。その一環として、全ての中学校区ではないが、小中一貫教育の一つとして、小中学校合同でメディア接触、特にスマートフォンの使い方とか危険性の講演会を行っている。また浜田市教育委員会としては、予定としては2学期の12月頃に教職員を対象にしたスマートフォン等の使い方に対する危険性並びに予防策等についての研修会を計画している。

小川委員 あと、1日の接触時間がかなり長いことについても、2時間以上見ている方が40～60%ということで、これを短くする方策について妙案があれば。難しいとは思いますが、このような取組みをすれば少しでも短く出来るのではということがあれば。

学校教育課副参事 妙案というのは無いのだが、家庭学習をしっかりとしましょう、そしてメディアの長時間接触については色々な悪影響が出ますよという啓発活動をやっていききたい。

佐々木委員長 他に。
(「なし」という声あり)
ないようなので次の議題に移る。

(8) 生徒国際交流事業について

生涯学習課長 (8)について、生涯学習課長。
佐々木委員長 (以下、資料をもとに説明)
岡本副委員長 ただいまの報告について質疑のある方は。岡本副委員長。
生涯学習課長 他市も同じような交流をされていると思うが、他市の状況について把握していれば少し紹介して欲しい。
生涯学習課長 他市の状況は把握していないが、大田市においては先般、韓国との交流をされているということではあるが、県内においても近年はあまり活発に交流されていないと認識している。

佐々木委員長 他に。小川委員。
小川委員 市としては当面見送ると。当面というのがどのくらいの時期かは分からないが、恐らく韓国、中国と日本政府の状況を見た時に、政治的部分というのが根強く残っている中で、こういった民間交流も難しい状況に来ているのではないかと思う。むしろそういう情勢だからこそ近隣である中国、韓国との民間交流というのが必要だと思う。阻害している要因を除去して再開に向けた努力という意味では、原因である政府の態度等に対して市の教育委員会として要望するとか、その辺の関係改善を求めるとか、そういったことを進めることによってこういった民間交流が早期に再開出来るようなことが必要だと思うが、その点についての考え方は。

生涯学習課長 現在のところ、国関係にそういった要望をする計画は無いが、今後それぞれの関係を、状況を見ながらまたそういったことも検討していきたいと思う。

佐々木委員長 他に。江角委員。
江角委員 中止ということだが、この中止の期間にこの2つとの交流による成果なり、そういったものを少し検証して、中止は中止で良いが今後の事業のあり方にも関連すると思うので。この中止期間にしっかり検証されてはどうか。

生涯学習課長 議員がおっしゃるとおり検証してみたいと思う。
佐々木委員長 他に。野藤委員。

野藤委員	石景山区については市としての交流もあると思うが、その辺から多分子どもたちの交流も始まったのではと認識している。市としての交流から、大人同士の働きかけがあってそれが子ども同士にまた、改善していくのかなと思ったりするのだが、そういったところの認識はどうか。分かる範囲で。
佐々木委員長 野藤委員	答弁出来る方は。おられない。 分かりました、それでは、それはそれでまた別に何かの方法でお聞きする。国の方針というか、例えば国から「ちょっと今そういった交流は待ってくれ」とか、県のスタンス国のスタンスはどうなのか。こういった子どもの交流事業に対して。
生涯学習課長 佐々木委員長	現時点ではそういったことは聞いていない。 他に。 (「なし」という声あり) ないようなので次の議題に移る。

(9) 三隅図書館開館時間試行延長の状況について

(10) 浜田市立中央図書館開館一周年記念イベントについて

中央図書館長 佐々木委員長	(9)と(10)は同じ所管なので続けて説明を。中央図書館長。 (以下、資料をもとに説明) ただいまの2件について質疑のある方は。 (「なし」という声あり) ないようなので次の議題に移る。
------------------	---

(11) 浜田市立和田公民館の移転について

旭支所長 佐々木委員長	(11)について、旭支所長。 (以下、資料をもとに説明) この件について質疑のある方は。上野委員。他の委員から事前審査にならないようにという意見があったがその辺も踏まえて。
上野委員	職員室とランチルームの部分だけと書いてあるが、ご存知のように公民館は男性料理教室とかやっているが、2階に立派な調理室とかがあがるがそういった所は使えるようにはならないか。
旭支所長	消防法等の規定もあるので。それとここは非常に立派な施設で、浜田市としてもインキュベーションの施設ということで公募にかけている。地元としても公民館だけではもったいないというがあるので、そういった部分も含めて必要最低限、公民館が維持管理出来るようにと考えている。
佐々木委員長	この件については先ほど指摘があったが、今度の9月定例会の議題ということでもあるので、その時に質疑をしていただきたいが、それを含めて他にあれば。 (「なし」という声あり) ないようなので次の議題に移る。

(12) その他

・第4回浜田市人権尊重のまちづくり推進大会について

(配布)

・平成26年度運動会及び学習発表会等日程表

人権同和教育啓発センター所長	(12)の1点目について、人権同和教育啓発センター所長。 (以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長	ただいまの報告について委員から何かあれば。無いようなので2点目について、学校教育課長。
学校教育課長	(以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長	ただいまの報告について皆さんから何か。 (「なし」という声あり)
安全安心推進課長	ないようなので、他に執行部から報告は。安全安心推進課長。 (以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長	この件も9月定例会で審議の対象になるのか。
安全安心推進課長	議案としては出さないが、委員会の報告事項の中でこういった形で進めたいと。
佐々木委員長	議案ではなくて。改めて9月定例会の…。
安全安心推進課長	はい、執行部としてはこういった形で進めようと、委員会で説明させていただきたいということで、事前のご報告を。
佐々木委員長	はい。9月定例会にてまた詳しく説明があるとのことだが、今の時点で何かあれば。 (「なし」という声あり)
人事課長	他に執行部から何か。人事課長。 人事課から平成27年7月1日付の職員採用について報告を。 (以下、資料をもとに説明)
佐々木委員長	ただいまの報告について委員から何か。 (「なし」という声あり)
政策企画課長	ないようなので、他に。政策企画課長。 政策企画課から1点ご報告を。ペーパーが無いため大変申し訳ないが口頭で説明させていただく。坂根正弘奨学金制度について。5月末をもって希望を受け付けたところ10名の希望を受けた。この10名の中から当初目標の2名程度に絞り込みをかけている状況だが、坂根正弘相談役から、今回の2名については実際に自分から授与したいという申し出があった。そういう状況を受け、8月16日(土)に2名の方が決定出来ればその方々に対しての授与式を行いたいということで、現在2名の選定をしている。口頭で大変申し訳ないが現状報告とさせていただく。
佐々木委員長	ただいまの報告について何か。 (「なし」という声あり)

選管事務局長

ないようなので、他に執行部から何か。選挙管理委員会事務局長。

選挙管理委員会から平成 26 年 7 月 31 日執行の、島根海区漁業調整委員会委員補欠選挙について、口頭によりご報告申し上げます。7 月 22 日の立候補届出の結果、定数 1 名を超えなかったため無投票となり、7 月 31 日に島根県選挙管理委員会で当選が決定された。当選された方については、浜田市熱田町の渡邊恭郎さん。なお、6 月議会で補正した経費については準備費として執行したのもあるので 12 月議会で減額補正を提案させていただく予定にしている。

佐々木委員長

ただいまの説明について何かある方は。

(「なし」という声あり)

この件も無いようなので、他に何か。

(「なし」という声あり)

ではこの件は終了する。

2. その他

議題 2 のその他について、委員から何か。

(「なし」という声あり)

執行部からは。

(「なし」という声あり)

ないようなので、以上で総務文教調査会を終了する。お疲れ様でした。

(閉 議 11 時 27 分)

浜田市議会調査会規程第 6 条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 佐々木 豊治